

1

事業名	平成30年度医療提供施設等の施設の運営等
根拠法令等	医療提供体制推進事業費補助金交付要綱

2

	事業計画				実施状況					実施結果	評価
	事業分類	事業区分	事業の目的	施設の名称又は 事業の委託先	事業の支出状況(単位;千円)				事業の 進捗状況		
					国費	県費	事業者	合計			
1	救急医療対策事業	小児救命救急センター運営事業	小児救命救急センターを整備し、重篤な小児救急患者の医療の確保を図る。	四国こどもとおとなの医療センター	57,689	—	115,380	173,069	100%	小児救命救急センターに対し、その運営に必要な経費を支給。小児救命センター運用病床数 10床。小児集中治療室専用病床8床。	県内全域の小児救急患者を、診療科領域を問わず24時間体制で受入れることで、小児救急医療の充実が図られた。
2	〃	救急救命士病院実習受入促進事業	医療機関において救急救命士の資格を有する救急隊員の行う心肺蘇生等の救急救命処置の実習を行うための体制整備を促進することにより、資格を有する救急隊員の業務の高度化と資質の向上を図る。	四国こどもとおとなの医療センター	362	362	789	1,513	100%	気管挿管・就業前教育・再教育等の実習を行った。	様々な実習を行うことにより救急救命士の技術の向上が図られた。
3	〃	自動体外式除細動器(AED)普及啓発事業	AEDを含む救命処置の県民等への周知及び設置事業者等に対する適正管理を啓発する。	香川県	6	7	—	13	100%	AEDを含む救命救急講習会を開催 ・実施回数 3回 ・参加人数 68名	救命措置講習会を通じ、AEDを含む心肺蘇生の知識などを多くの県民が習得することができた。
4	〃	救急医療情報センター(広域災害・救急医療情報システム)運営事業	救急医療の関係機関をネットワーク化し、必要な情報の収集・提供を実施する。	(株)NTTデータ	6,008	16,492	—	22,500	100%	各消防機関に計53台の携帯端末を配布し、救急搬送時に、他の救急搬送の状況を確認できるようにし、また医療機関側では事前に傷病者情報を確認できるよう整備している。	スマートフォン等の活用により、傷病者の迅速な救急搬送や円滑な治療が図られた。
5	〃	救急患者退院コーディネーター事業	急性期を脱した救急患者の円滑な転床・転院を促進する。	回生病院、高松赤十字病院、県立白鳥病院	5,996	—	17,008	23,004	100%	地域の実情に精通した救急患者退院コーディネーターを配置し、急性期を脱した救急患者を円滑に転院・転床を行った。 30年度は、転床4,171人、院外転院は、114人であった。	病院内外の調整を行い、救急医療用病床の有効化が図られた。

	事業計画				実施状況					実施結果	評価
	事業分類	事業区分	事業の目的	施設の名称又は事業の委託先	事業の支出状況(単位:千円)				事業の進捗状況		
					国費	県費	事業者	合計			
6	周産期医療対策事業等	周産期医療対策事業	妊娠、出産から新生児に至る高度専門的な医療を効果的に提供する。	香川県、四国こどもとおとなの医療センター、香川大学医学部附属病院	640	1,538	—	2,178	100%	総合周産期母子医療センターにおいて地域従事者研修会を開催するなど体制整備に努めた。	総合周産期母子医療センターと地域医療機関等との連携が図られ、周産期の患者に対する適切な医療の提供が行われた。
7	〃	周産期母子医療センター運営事業	周産期母子医療センターの運営を支援することにより、妊娠、出産から新生児に至る高度専門的な医療を効果的に提供する。	香川大学医学部附属病院、四国こどもとおとなの医療センター、高松赤十字病院	27,089	—	1,070,684	1,097,773	100%	周産期母子医療センターの運営を支援し、妊娠、出産から新生児に至る高度専門的な医療を効果的に提供した。	周産期母子医療センターの安定した運営に寄与し、周産期母子医療センターを中心とした周産期医療体制の整備が図られた。
8	〃	NICU等長期入院児支援事業	重症患児の在宅療養支援を行うことにより、NICU等長期入院患児の早期退院、在宅療養を支援する。	四国こどもとおとなの医療センター	3,403	3,403	5,459	12,265	100%	前年度に引き続き重症患児のための乳幼児レスパイト事業を実施した。 ・専用病床を1床確保 ・利用希望登録患者3名	重症患児の在宅療養体制を整備することにより、長期入院傾向にあるNICU等入院患児の早期退院支援が図れた。
9	看護職員確保対策事業	助産師出向支援導入事業	助産師就業の偏在把握や助産師出向の検討等を行い、助産師就業の偏在解消、助産実践能力の強化及び助産学生等の実習施設確保等を図る。	(公社)香川県看護協会	1,563	—	—	1,563	100%	事業の運営・企画を実施するための協議会を2回開催。コーディネーターによる施設間のマッチング・調整等を実施し、助産師の出向・受け入れを行った。(出向元医療機関:4か所、受入れ先医療機関:4か所)。	協議会による検討や助産師出向に関する意向調査等の実施により、医療機関への制度啓発・周知が図られ、マッチングが可能となった。事業実施医療機関の連携強化が図られた。
10	地域医療対策事業	医療連携体制推進事業	主要事業(脳卒中、救急)の医療連携体制を構築する。	香川県、高松・東讃地域シームレスケア研究会	184	184	—	368	100%	前年度に改訂した急性心筋梗塞医療連携クリティカルパス及び患者向け冊子の周知・啓発等を行った。脳卒中診療に関わる多職種を対象とした研究会及び講演会を開催した。	心筋梗塞患者や脳卒中患者に関する予防から在宅までの医療連携体制の向上が図られた。

	事業計画				実施状況					実施結果	評価
	事業分類	事業区分	事業の目的	施設の名称又は事業の委託先	事業の支出状況(単位:千円)				事業の進捗状況		
					国費	県費	事業者	合計			
11	医療提供体制設備整備事業	病院群輪番制病院及び共同利用型病院設備整備事業	病院群輪番制に参加している病院等に係る設備整備への補助を行う。	高松市(KKR高松病院)、丸亀市(滝宮総合病院)	7,100	7,101	7,863	22,064	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・KKR高松病院内視鏡室に下部内視鏡機器一式を整備 ・滝宮総合病院腹部エコー室に超音波画像診断装置を整備 	病院群輪番制参加病院に係る機器整備が図られた。
12	〃	小児医療施設設備整備事業	NICU病床を有する病院の設備整備を補助し、医療者の技能習得、向上を支援する。	香川大学医学部附属病院	920	920	920	2,760	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・香川大学医学部附属病院早産児シミュレーター式を整備 	超早産児の医療に従事する医療者の技術習得、向上に寄与した。